

USB メモリーを便利に使う(再)

フリーソフトを使用した、USB メモリーの便利な使い方です

(注1) フリーソフトの使用は、使用する人の自己責任でお願いします。

(注2) フリーソフトをインストールする場合は、「解凍」ソフト(.lzh、.zip などに対応)が別途必要ですが、講習会では解凍済のものを使用します。

(参考)

フリーソフトの基本的なインストール方法

ダウンロードの際に、「保存場所」をデスクトップに指定すると、ファイルを見付け易い。

ダウンロードの際に、「保存」を選ぶと「圧縮ファイル」が保存されるので、インストールの際に「解凍」(展開)が必要になる。

インストールの際に、ソフトによって実行ファイルの保存場所が「圧縮ファイル」と同じ場所になる場合と、「Program File」になる場合があるので、必要に応じて変更すること。(関連ファイルが、フォルダで保存される)

ダウンロードの際に、「開く」を選ぶと「ソフト」(ファイル)がインストールされる。実行ファイルが保存される場所は上記と同じです。

圧縮ファイルを解凍する場合

拡張子が「.exe」のファイルは、ダブルクリックで解凍できる(自己解凍)。

拡張子が「.zip」のファイルは、Windowsの標準ソフトで解凍できる。

それ以外の拡張子の場合は、「解凍ソフト」がインストールされていることが必要です。

1. 「解凍ソフト」を USB に入れておく

解凍ソフトを USB に入れておくと、外部のパソコンで解凍する場合など、便利に使えます。

フリーソフト名：解凍レンジ

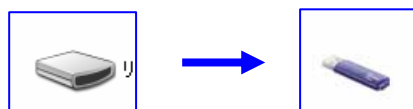
設定方法：解凍して出来たフォルダ(EasyRenge)を開いて、実行ファイル(「ERANGE」)を USB メモリーにコピーする(ドラッグ&ドロップ)。



使用方法：ダウンロードした圧縮ファイルを、「ERANGE」(実行ファイル)にドラッグ&ドロップすると、圧縮ファイルが保存されている場所と同じ場所に、同じ名前の解凍済フォルダが出来、その中にファイル一式が作成される。

2. 「USB メモリー」のアイコンを見つけ易く表示する

「マイコンピュータ」の画面で表示される「USB メモリー」のアイコンは、「リムーバブルディスク」と表示され、他のメディア(SDカード、CFカードなど)も「リムーバブルディスク」と表示されるため区別が付きにくい、そこで、一目で「USB メモリー」と分かるように、アイコンの形を USB 状のものに変えると、見付け易くなる。



フリーソフト名 : Device XP icons 又は WindowsXP アイコン USB フラッシュメモリ

設定方法 : ソフト(ファイル)を開くと、「USB メモリー」のアイコンが多数表示されるので、その中の一つを選んで、「USB メモリー」スティックへコピーする。

以上の作業だけでは、「スティック」状にはなりません、次の第3項で設定方法でファイルを書き換えるとアイコンが USB メモリー状に変わる。

3 . ダブルクリックして、USB メモリーを安全に取り外す

USB メモリーを安全に取り外すためには、タスクトレイの「ハードウェアの安全な取り外し」ボタンをクリックした後、「USB 大容量記憶装置デバイス - ドライブ(F)を安全に取り外します」をクリックし、コメント(ハードウェアの取り外し)を確認して取り外すという、手順を踏む必要があるが、

このソフトを導入すると、「USB メモリー」内に出来るアイコンをダブルクリックするだけで、コメントが表示され、簡単に取り外すことが出来る。

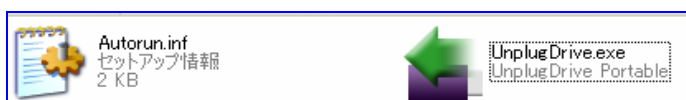


このアイコンをダブルクリックすると安全に取り外すことが出来る。

フリーソフト名 : UnplugDrive Portable

設定方法

解凍して出来たファイル(UNPP0329)を開き、「Autorun」と「UnplugDrive」と言う2つのファイルを、「USB メモリー」へドラッグ・アンド・ドロップ(コピー)する。



この2つのアイコンを USB にコピーする

「Autorun」ファイルを開き、アイコンのファイル名を書き換える。

[AutoRun] ;icon=アイコンファイル.ico → [AutoRun] icon=xxxxxxx.ico

(注) セミコロン(;)を削除し、「xxxxxxx」の部分は、上記2で選択(USB メモリースティックにコピー)したアイコンのファイル名を記入すること。

以上の設定により、PCに「USB メモリースティック」を挿入すると、
・ リムーバブルディスクのアイコンが USB メモリーの形で表示され、
・ 「UnplugDrive」のアイコンをダブルクリックすると、「USB メモリー」を素早く安全に取り外すことが出来るようになる。

4. 「USB メモリー」のアイコン・ファイルなどを非表示にする

上記2で選定した「USB メモリー」を表示するアイコンなどは、通常、DATA 入出力時には使う必要のないファイルなので、誤って消去しないように非表示の設定にすると便利です。

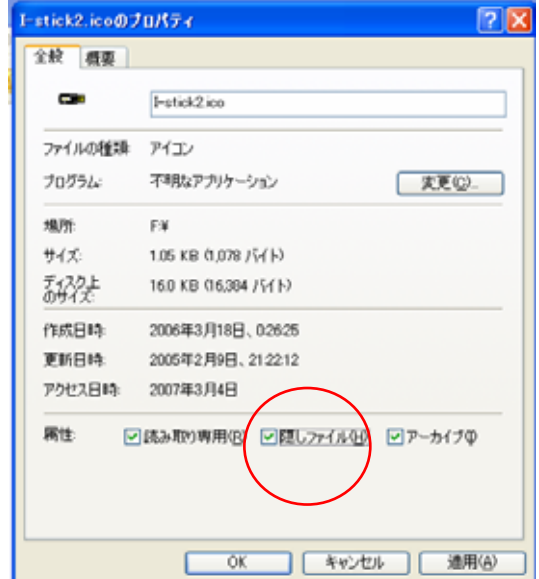
設定方法

非表示にするファイル、又はフォルダを右クリックし、メニューから「プロパティ」を選択する。

「属性」欄の「隠しファイル」にチェックを付ける。

「OK」若しくは「適用」ボタンを押す。

(注) この設定を有効にするには、「フォルダオプション」で「隠しファイルおよび隠しフォルダを表示しない」設定にしておくこと。



5. 誤って消去した USB メモリーのデータを復元させる

USB メモリーに保存しておいたファイルを、誤って消去してしまった場合に復元するソフトです。

(注) 100%の復元は確約できませんが、消去後上書きされていない可能性は高いとの説明です。

フリーソフト名 : DataRecovery

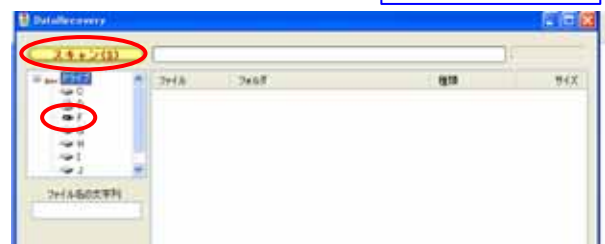
設定方法 : ダウンロードした(解凍済み)のソフトを、フォルダごと「USB メモリー」にコピーすればよい。

使用方法

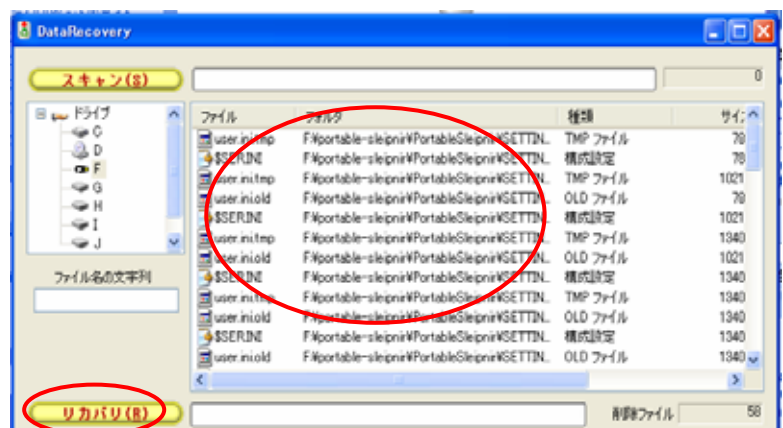
起動アイコン(右図)をダブルクリックして、「DataRecovery」ダイアログを開く。



ダイアログに表示されているドライブの「USB メモリー」を選択し、「スキャン」ボタンをクリックする。



一覧表示された、削除済みフォルダの中から、復元したいものを選び「リカバリ」ボタンを押す。



復元したファイルの保存先を聞いてくるので、保存場所（例えば、デスクトップ）をクリックし、「新しいフォルダの作成」ボタンを押して、新規フォルダ名をつけて、「OK」を押す。

（注）一連の作業中に、「J-Word」をインストールしようとするが、ここではインストールを拒否する。

J-Word とは、検索エンジンの 1 種で、インストールすると頻繁にポップアップが出現したり、アップデートを重ねたりするので、煩わしいことが多い。

「復元」機能には関係のないものなので、削除しても支障は全くない。

